

2019年度第7回日本科学教育学会研究会（北関東支部開催）プログラム

[テーマ] 知性を高め未来を創る科学教育

[開催日] 令和2年（2020）5月16日（土）

[主催] 一般社団法人 日本科学教育学会

[会場] オンライン開催＜群馬大学 共同教育学部＞（中止）

[日程] 9:30 ～ 9:35 受付
9:35 ～ 9:40 開会
9:40 ～ 11:40 研究発表
11:40 終了

※1 研究発表あたりの持ち時間は年会の一般研究発表に倣い
20分（発表15分、質疑応答5分）

研究発表 I

- A01 9:40-10:00 理科授業において実験計画を記述させる指導に関する研究
○村田稜輝（高崎市立六郷小学校）・栗原淳一（群馬大学共同教育学部）
- A02 10:00-10:20 ルーブリックを活用した理科の実験計画立案場面の指導に関する研究
○湯本裕貴（高崎市立吉井小学校）・栗原淳一（群馬大学共同教育学部）
- A03 10:20-10:40 小学校理科「水の温まり方と水の動きの問題」
○加茂川恵司（東邦大学）・菊地洋一（岩手大学）
- A04 10:40-11:00 身近な自然との一体化体験における中学生の意識の実態 - 中学校理科でのディープ・エコロジー・ワークの実践を通して -
○山本容子（筑波大学人間系）
- A05 11:00-11:20 光に関する中学生の構成概念の研究 - ラーニング・プログレッションズの知見をもとに -
○須藤裕司（筑波大学大学院教育研究科）・片平克弘（筑波大学人間系）
・石川美穂（筑波大学大学院人間総合科学学術院）
- A06 11:20-11:40 SDGs 実施に関連する学際研究に向けた理科教育への一考察
○石川美穂（筑波大学大学院人間総合科学学術院）・片平克弘（筑波大学人間系）

研究発表Ⅱ

- B01 9:40-10:00 長崎における秋から冬にかけてのクモの生態とチュウガタシロカネグモのUV-vis 反射スペクトル測定
○野口大介（長崎大学）
- B02 10:00-10:20 抗菌薬の環境影響を容易に観察する実験教材の開発
○和田重雄（日本薬科大学）・熊本隆之（奥羽大学薬学部）・山本勇樹（奥羽大学薬学部）・中須賀博隆（日本薬科大学）・小池陽光（日本薬科大学）
・堀江均（奥羽大学薬学部）
- B03 10:20-10:40 高等学校における課題研究指導に関する教員の意識調査
○山科 勝（山形大学）
- B04 10:40-11:00 算数・数学は一人で学べるか
○渡辺信（生涯学習数学研究所）・青木孝子（東海大学）
- B05 11:00-11:20 数学教師の語りの構造に関する一考察
○森田大輔（東京学芸大学大学院連合学校教育学研究科）
- B06 11:20-11:40 **GeoGebra** による観察・実験における数学的活動—中学校第 1 学年「平面図形」の実践事例から—
○小泉健輔（群馬大学共同教育学部）